



天然の栈橋 表松島
「馬の背」

令和8年度 町の予算と施政方針

広報りふ
令和8年4月号
別冊

地方自治体を取り巻く環境は、急速に進む人口減少・少子高齢化への対応や激甚化・頻発化する自然災害への対策、子育て支援の充実、地域経済の活性化や物価高騰への対応など、急激に変化する社会情勢の中にあっても、持続可能で活力ある地域の実現に取り組んでいかなければなりません。このような中で、「利府町を知ってもらう」、「利府町に来てもらう」という施策においてしっかりと築き上げた土台を活かしながら、「利府町に住んでもらい」そして、住んでもらったら「住みつけたいまちNo.1」と言ってもらえるような施策を柱とし、市制移行に向けて引き続き挑戦してまいります。

●目次

- P2…………… 町の予算
- P6…………… 施政方針
 - 1つ目の柱 安心安全で暮らせるまち
- P8…………… 2つ目の柱 個性あるスポーツと文化を創造するまち
- P9…………… 3つ目の柱 みんながすこやかに暮らせるまち
- P11…………… 4つ目の柱 地域産業を次世代につなぐまち
- P12…………… 5つ目の柱 みんなの夢を応援するまち

令和8年度 予算

令和8年度 一般会計当初予算

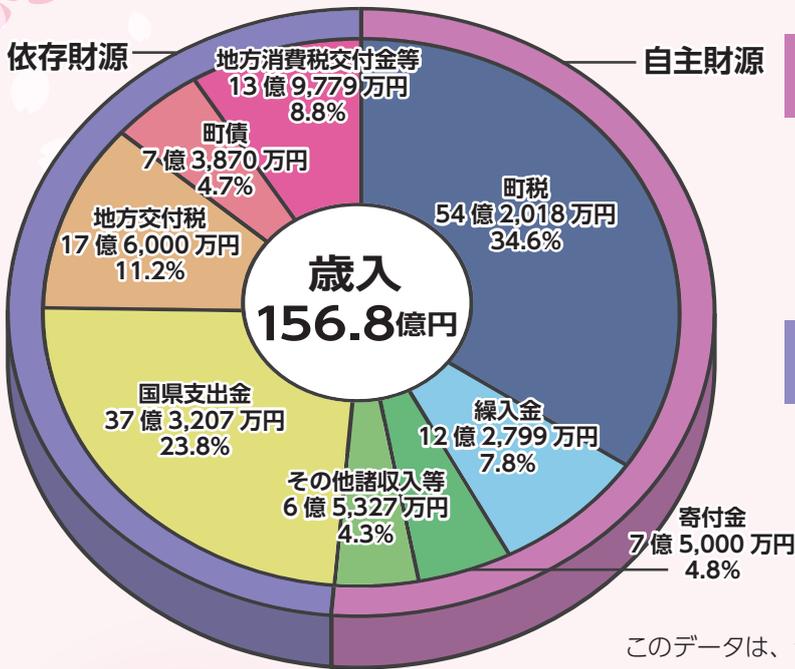


歳入歳出総額 **156.8億円**
(対前年度比 1.1%減)

令和8年度一般会計予算のポイント

「総合計画」に掲げた計画目標を基本とし「もっと先へ、チャレンジ利府～みんなの夢がかなうまち～」を合言葉に、町民一人ひとりが幸せを実感できる、持続可能なまちづくりを戦略的に進めるための重点施策事業に必要な予算編成を行いました。

一般会計 歳入



自主財源 (51.5%)

80億5,145万円

町税や施設利用料など、町が自主的に調達できる財源

依存財源 (48.5%)

76億2,855万円

国や県の基準により決定され、交付される財源

このデータは、令和8年度一般会計予算総額を、町民一人当たりの金額に換算したものです。 ※令和8年2月末現在人口 35,893人

町の会計を
家計に
例えてみると…

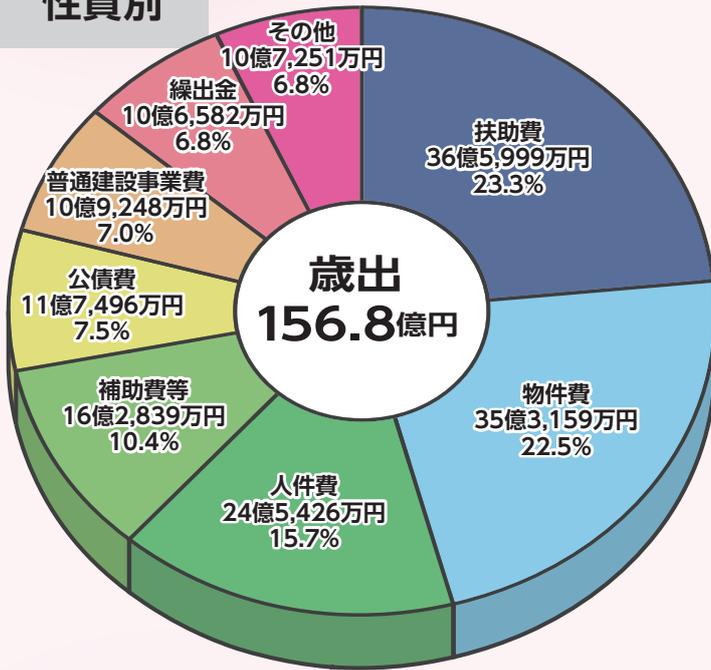


まちの家計簿(収入)	令和8年度	令和7年度	比較増減額
給料 (町税)	151,009円	147,366円	3,643円
パート収入 (使用料など)	18,200円	19,659円	△1,459円
親からの仕送り (国・県支出金、地方交付税)	153,013円	154,200円	△1,187円
給付金や配当金 (国からの交付金など)	38,943円	35,730円	3,213円
貯金の取り崩し (繰入金)	34,213円	34,750円	△537円
親戚等からのご祝儀 (寄附金)	20,895円	23,711円	△2,816円
住宅ローンや借金 (町債)	20,581円	27,008円	△6,427円
収入合計	436,854円	442,424円	△5,570円

一般会計 歳出

※100%となるように
端数調整しています。

性質別



令和7年度 一般会計予算額

158.6億円

令和8年度 一般会計予算額

156.8億円

令和7年度から
1.8億円の減額

<p>■ 扶助費 社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などを支援する経費</p>	<p>■ 物件費 人件費、扶助費などを除く、消費的な費用(支出の効果が単年度または極めて短期間で終わるもの)の総称</p>	<p>■ 人件費 議員報酬や町職員の給与などの経費</p>
<p>■ 補助費 一部事務組合や町内の団体などを補助する経費</p>	<p>■ 公債費 町が発行した町債(借金)返済のための経費</p>	<p>■ 普通建設事業費 道路や公園などの社会基盤の整備に要する経費</p>
		<p>■ 繰出金 一般会計から特別会計に支出される経費</p>

このデータは、令和8年度一般会計予算総額を、町民一人当たりの金額に換算したものです。 ※令和8年2月末現在人口 35,893人

収入に関しては、給料(町税)の増加が見込まれます。
また、住宅ローン・借金(町債)の新規借入を大幅に削減し、家計負担を見直しました。
その結果、貯金(繰入金)の取り崩しが減少しています。

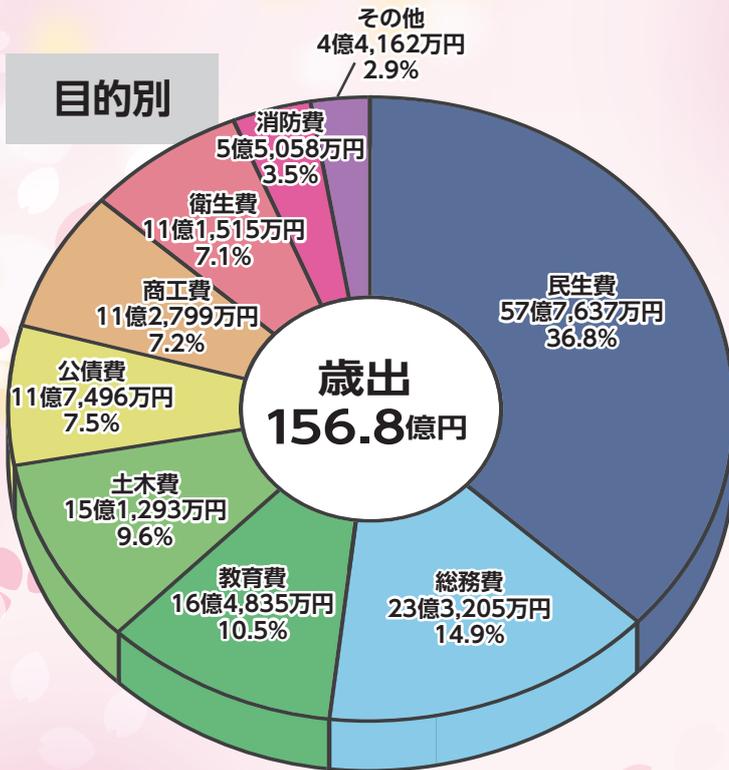
支出に関しては、物価高騰により食費(人件費)が増加しましたが、節約に努め、光熱水費(物件費)が減少しています。
また、増改築費(普通建設事業費)や住宅ローン返済(公債費)などのピークが過ぎたことで、全体的に支出が減少しております。



まちの家計簿(支出)	令和8年度	令和7年度	比較増減額
食費(人件費)	68,377円	64,382円	3,995円
光熱水費や日用品の購入(物件費)	98,392円	103,322円	△4,930円
家族の医療費(扶助費)	101,970円	98,913円	3,057円
親戚や友人との交際費(補助費等)	45,368円	43,496円	1,872円
住宅ローンや借金の返済(公債費)	32,735円	35,136円	△2,401円
貯金(積立金)	13,251円	13,820円	△569円
投資(その他貸付金等)	16,630円	15,200円	1,430円
子どもへのおこづかい(繰出金)	29,694円	28,433円	1,261円
家の増改築費(普通建設事業)	30,437円	39,722円	△9,285円
支出合計	436,854円	442,424円	△5,570円

※100%となるように
端数調整しています。

目的別



民生費

児童、高齢者、障がい者の
福祉など

総務費

課税徴収、防災、戸籍事務、
体育館施設の維持管理など

教育費

学校教育、社会教育など

土木費

道路、公園などの整備や
維持管理など

公債費

町の借金の返済費

商工費

商工・観光の振興など

衛生費

環境保全、ごみの
処理など

消防費

風水害・地震・津波を
含む災害防除など

町民 1 人当たりの行政経費 (一般会計)

1 人当たり **436,854 円** (歳入歳出総額÷人口)
※令和 8 年 2 月末現在人口 35,893 人



民生費 (児童、高齢者、障がい者の福祉など)	総務費 (課税徴収、防災、戸籍事務、体育施設の維持管理など)	教育費 (学校教育、社会教育など)
160,933 円	64,973 円	45,924 円
土木費 (道路、公園などの整備や維持管理など)	公債費 (町の借金の返済費)	商工費 (商工、観光の振興など)
42,151 円	32,735 円	31,427 円
衛生費 (環境保全、ごみの処理など)	消防費 (風水害・地震・津波を含む災害防除など)	その他
31,069 円	15,339 円	議会費 労働費 災害復旧費 農林水産業費 予備費 12,303 円

その他各種会計の予算

■ 特別会計

【介護保険特別会計】



介護保険法に基づく介護保険事業の収支を経理するための会計です。被保険者からの介護保険料・介護サービスや介護予防のための費用の収支管理を行っています。

【町営墓地特別会計】



墓地に関する事業や資金の運用状況を明確にするための会計です。たてやま霊園の区画墓地や集合墓地の使用料等により、霊園の管理、場内清掃、除草業務等を行っています。

【国民健康保険特別会計】



社会保険等の他の医療保険に加入していないすべての住民の方を対象とした医療保険制度の収支を経理するための会計です。加入者が保険税を出し合ってお互いを支え合う相互扶助により、病気やけがをしたときに安心して医療を受けられるよう収支管理を行っています。

【後期高齢者医療特別会計】



原則として75歳以上の方を対象とした医療保険制度の収支を経理するための会計です。現役世代からの保険料による支援や加入者の保険料により、病気やけがをしたときに安心して医療を受けられるよう収支管理を行っています。



Q. 特別会計ってなに？

A. 一般会計とは別に、保険料など特定の収入で事業を行う会計のことです。



■ 公営企業会計

【水道事業会計】 【下水道事業会計】



サービスの提供に対して皆さんが支払う料金などを収入として事業を行うための会計です。皆さんが安心してサービスを受けられるよう、上下水道使用料で施設の整備や維持管理を行っています。



Q. 企業会計ってなに？

A. 一般企業のように、利用料金などの収益で運営する会計のことです。



令和8年度 会計別当初予算額比較表

区分	令和8年度 当初予算額	令和7年度 当初予算額	比較増減額	増減率	
一般会計	156億 8,000 万円	158億 6,000 万円	△1億 8,000 万円	△ 1.1%	
特別会計	国民健康保険特別会計	32億 4,906 万円	31億 7,068 万円	7,838 万円	2.5%
	介護保険特別会計	26億 2,699 万円	26億 4,122 万円	△ 1,423 万円	△ 0.5%
	後期高齢者医療特別会計	5億 1,851 万円	4億 6,618 万円	5,233 万円	11.2%
	町営墓地特別会計	1,162 万円	1,137 万円	25 万円	2.2%
	小計	64億 618 万円	62億 8,945 万円	1億 1,673 万円	1.9%
公営企業会計	水道事業会計	11億 1,582 万円	11億 4,857 万円	△ 3,275 万円	△ 2.9%
	下水道事業会計	8億 6,065 万円	8億 5,239 万円	826 万円	1.0%
合計	240億 6,265 万円	241億 5,041 万円	△ 8,776 万円	△ 0.4%	

令和8年度施政方針

予算額は千円単位を四捨五入しています

1 っ目の柱 安全安心で暮らせるまち(主な事業)

利府町版mobiプロジェクト推進事業 (生活環境課)6,006万円

乗合型AIオンデマンド交通サービス「利府町版mobi」の秋ごろの本格運行開始を目指し、暮らしを支える公共交通ネットワークを構築していきます。



町道及び生活道路維持管理事業 (施設管理課)2億1,580万円

適切な維持管理や長寿命化対策工事などを実施するとともに、町道硯沢2号線の雨水排水対策工事に着手し、住民の安全安心な生活環境づくりに取り組みます。

※ふるさと応援寄附金(1,000万円)を活用



ゼロカーボンチャレンジ事業 (生活環境課)861万円

省エネ家電への買い替えを促進し、家庭における二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。

※みやぎ環境交付金(614万円)を活用



館山公園駐車場整備事業 (施設管理課)1,200万円

新たな駐車場の整備により、観桜期の混雑を解消し、桜を楽しんでいただけるよう快適な公園環境づくりに取り組みます。



町営住宅建替事業(施設管理課).....6億7,349万円

公営住宅としては県内初となるPFI手法を導入しており、設計、施工、入居者移転支援等を包括的に委託することで、民間事業者の各専門分野における企画力、技術力、創意工夫を生かし、入居者の満足度の向上や町の財政負担の軽減を図ります。令和8年度は引き続き、八幡崎住宅敷地南側の第1工区1棟30戸の完成に向け取り組みます。
 ※社会資本整備総合交付金(2億5,364万円)を活用



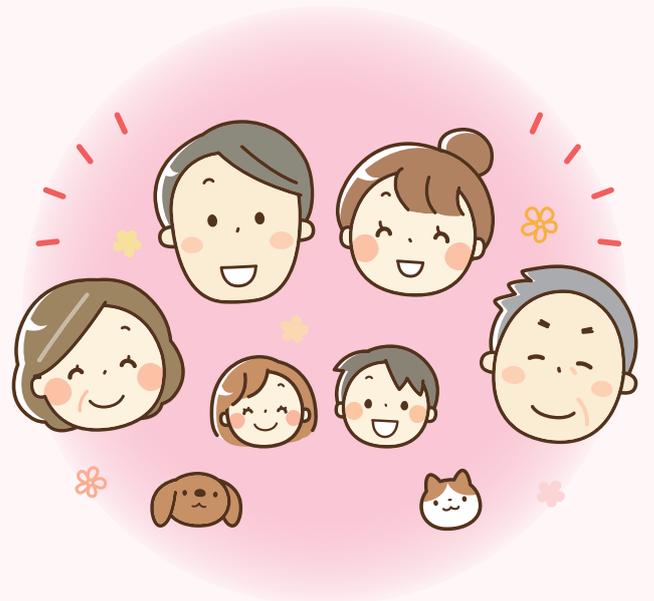
土地区画整理推進事業(都市整備課).....1,500万円

土地区画整理事業を行う者に対し5年間を上限とし事業費の一部を補助し、新市街地の形成に取り組みます。
 ※ふるさと応援寄附金(1,500万円)を活用



上下水道包括的民間委託事業(上下水道課).....3億4,320万円

民間企業の持つノウハウや専門性の高い技術力を活用し、施設の維持管理や耐震化を進め、将来にわたって安定した上下水道事業の運営に取り組みます。



2つ目の柱 個性あるスポーツと文化を創造するまち(主な事業)

モータースポーツ推進事業 (スポーツ振興課)810万円

本町独自のモータースポーツ文化をさらに発展させるため、利府ラリーとTOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジを同日開催し、観光を通じた交流人口の拡大やシティセールスに取り組みます。
※ふるさと応援寄附金(710万円)、宮城県町村会町村地域づくり振興等助成金(100万円)を活用



十符の里スポーツパークフェスティバル事業 (スポーツ振興課)216万円

多くの町民が様々なスポーツに参加できる機会の創出として、プロスポーツ体験コーナーやニュースポーツ、eスポーツイベントなどが一挙に楽しめる「十符の里スポーツパークフェスティバル」などの開催を通じて、運動やスポーツを始めるきっかけづくりを積極的に展開していきます。
※ふるさと応援寄附金(216万円)を活用



キリンチャレンジカップ2026販わい創出事業 (スポーツ振興課)61万円

会場までのウォーキングイベント等を開催し、来場者に楽しんでいただける事業の創出と「スポーツのまち利府」の全国的な発信に取り組みます。



文化交流センター管理運営事業 (生涯学習課)2億8,800万円

文化芸術活動の拠点である文化交流センター「リフノス」について適切な施設管理と運営を行い、様々な文化芸術事業を提供します。



旧東北本線(山線) 隧道普及啓発事業 (生涯学習課)93万円

歴史的建造物である旧東北本線(山線)の隧道を紹介する説明板の設置など、本町の歴史・文化の普及啓発に取り組みます。



3つ目の柱 みんながすこやかに暮らせるまち(主な事業)

乳児見守りおむつ等お届け便事業 (健康推進課).....400万円

1歳になるまでの子どもを育児する世帯に対し、おむつ等を配布しながら育児への不安や悩みを聞き取り、必要に応じて専門職の相談支援へつなげます。

※母子保健衛生費国庫補助金(48万円)、ふるさと応援寄附金(352万円)を活用



乳児等通園支援事業 (子ども支援課).....1,321万円

0歳～2歳までの未就園児が保護者の就労要件を問わず保育園や幼稚園等を利用できる通園支援事業に取り組みます。

※乳児等のための支援給付交付金(1,156万円)を活用



子ども医療費助成事業 (子ども支援課).....2億376万円

子ども(18歳の年度末まで)にかかる医療費のうち、保険が適用される入院、通院、薬代を助成します。

※乳幼児医療費助成事業補助金(2,595万円)、審査・支払業務委託費補助金(50万円)、ふるさと応援寄附金(5,379万円)を活用



小・中学校給食費完全無料化事業 (教育総務課).....2億3,195万円

小学校1年生から中学校3年生までの全学年の学校給食費を無料化し、子育て世代の経済負担の軽減を図ります。なお、私立等に通学している児童生徒については、補助金を交付し支援します。

※給食費負担軽減交付金(5,669万円)、市町村立学校給食費補助金(5,669万円)、ふるさと応援寄附金(460万円)を活用



小・中学校入学支援事業 (教育総務課).....748万円

小学校と中学校の新1年生に学校で使う運動着の購入費用を支援し、保護者の経済負担の軽減を図ります。

※市町村振興宝くじ交付金(723万円)、小学校入学準備支援事業補助金(25万円)を活用



国内語学研修事業 (教育総務課).....181万円

英語教育の充実を図るため、国内語学研修施設を利用し生きた英語に触れる機会を設け、英語力や英語学習意欲の向上に取り組みます。

※ふるさと応援寄附金(141万円)を活用



サイエンス出前授業事業
(教育総務課).....66万円

町内小学校6校を対象に科学の面白さや驚きに触れる
機会の創出に取り組みます。



英語ディベート事業
(教育総務課).....12万円

大学と連携し町内中学生を対象に英語による論理的思考
力やプレゼンテーションスキルを養える事業に取り組み
ます。



部活動地域展開体制整備事業
(教育総務課).....650万円

部活動の地域展開に向けた体制整備の一環として、一部
の部活動において地域の指導者による地域クラブ活動の
実証事業に取り組みます。
※運動部活動の地域展開等推進事業費補助金(433万円)を活用



高齢者元気アップポイント事業
(地域福祉課).....239万円

新たに運動を始めるきっかけを創出する個人の健康づくり
活動に対し、ポイント制度を導入して介護予防を支援し
ます。
※ポイントは町指定商品と交換ができます。
※地域支援事業交付金(141万円)を活用



高齢者セカンドライフ応援事業
(健康推進課).....200万円

高齢者の皆さまがより充実した「セカンドライフ」を送
れるよう、新たな挑戦を実現するための取り組みに対して
助成金を交付し支援します。
※ふるさと応援寄附金(200万円)を活用



4つ目の柱 地域産業を次世代につなぐまち(主な事業)

地域おこし協力隊就農支援事業 (農林水産課).....1,735万円

3名の協力隊員が栽培技術の習得等に取り組み、梨農家の担い手の確保を図ります。



りふ梨ブランド化事業 (農林水産課).....150万円

本町の特産品である利府梨の魅力をさらに高めるためのブランド化戦略に取り組みます。



地域おこし協力隊(海業)推進事業 (商工観光課).....1,590万円

2名の協力隊員が本町独自の「観光×漁業」による複合的な取り組みを行い、「海」という観光資源を最大限活用し新しい観光及び水産業の振興を図ります。



十符の里-ALL RIFU産業祭事業 (商工観光課).....838万円

町内で生産される工業製品、地場産品、農作物等の販売や体験型イベントなどを通し、本町の多様な産業を広くPRするとともに、地域産業の振興と交流人口の拡大を図ります。

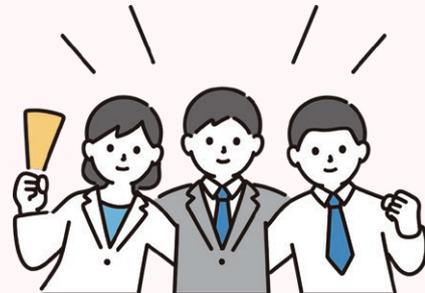
※ふるさと応援寄附金(838万円)を活用



新事業チャレンジ応援事業 (商工観光課).....600万円

生産性の向上や販路開拓、新商品や新サービスの開発にチャレンジする事業者へ補助金を交付し支援を図ります。

※ふるさと応援寄附金(600万円)を活用



特別名勝松島観光誘客環境整備事業(馬の背) (商工観光課).....352万円

天然の栈橋表松島「馬の背」周辺環境整備を図り、観光振興の拡大と積極的なPRに取り組みます。



5つ目の柱 みんなの夢を応援するまち(主な事業)

地域おこし協力隊(移住コーディネーター)推進事業 (商工観光課).....569万円

協力隊員1名を任用し、お試し移住体験や空き家バンクへの利活用を促進するなど積極的な移住・定住の促進に取り組めます。



まちづくり支援・夢チャレンジ事業 (生活環境課).....300万円

協働のまちづくりを推進するため、公益活動団体への支援と町民が抱く夢へのチャレンジを応援し、地域の活性化およびシビックプライドの醸成を図ります。

※ふるさと応援寄附金(300万円)を活用



シティープロモーション事業 (商工観光課).....264万円

町の魅力を町長自らが発信する「リフレッシュ町長」の配信など、町独自の戦略的なプロモーションに取り組めます。

※ふるさと応援寄附金(264万円)を活用



ふるさと応援寄附金新規返礼品開発支援事業 (商工観光課).....2,500万円

町独自財源である「ふるさと応援寄附金」の拡大に向け、新規返礼品の開発や既存返礼品の改良等を行うための設備導入などを行う返礼品協力事業者に対し、補助金を交付し支援を図ります。

※ふるさと応援寄附金(2,000万円)を活用



広報・広聴事業 (秘書政策課).....1,653万円

広報紙、行政情報一斉配信サービスやホームページなどを活用し「伝わる」広報活動を図ります。また、各世代との「座談会」や「町民会議」を開催し、町政運営への町民参画を促進します。



公共施設等長寿命化対策事業 (財務課).....2億1,478万円

計画的な保全の実施により維持管理のさらなる効率化や更新費用の低減を行い、施設の「長寿命化」を図り将来世代に過度な負担を強いることの無い、持続可能な住民サービスの提供に取り組めます。

※役場庁舎、総合体育館、屋内温水プール、保健福祉センター、町営駐車場、都市公園遊具等

※社会資本整備総合交付金(2,250万円)を活用

